

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）総括表

◆基本方針別取組状況

基本方針	取組 項目数	取組項目の 達成状況		主な取組内容
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	11	◎		高齢者の健康増進や介護予防を目的とした「いきいきサロン（97か所 836回）」や子育て中の親同士の交流を目的とした「子育てサロン（15か所 99回）」等を実施するなど、地域の方が気軽に集うことができる居場所の創出に取り組みました。
		○		
		△		
		×		
		-	11	
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	30	◎		一部の地区部会、町内自治会エリアにおいて住民主体の見守り活動が継続的に実施された他、生活上のちょっとしたお手伝い（ごみ出し、買い物支援）などの支援を行いました。 また、コロナウイルスが5類に移行したことにより、休止していた敬老会や各種イベントを再開し、幅広い世代が交流できる場づくりに取り組みました。
		○		
		△		
		×		
		-	30	
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	8	◎		町内自治会及び自主防災組織で防災訓練や避難所開設訓練が実施されたほか、防災に関する講座を開催するなど、住民に対する防災に対する意識の向上に努めました。 また、警察などと連携し、防犯パトロールや防犯に関する講座を実施して、地域住民の防犯意識を高めるためとともに、住民同士の防犯活動に取り組みました。
		○		
		△		
		×		
		-	8	
今年度の振り返り	49	◎		コロナウイルスが5類に移行し、各地区部会エリアにおいて休止していた地域活動を再開するため、様々な手段で地域の状況を把握し、把握した困りごとや気づきを共有するために話し合い、実施に向けて様々な工夫をしながら活動に取り組みました。
		○		
		△		
		×		
		-	49	
今後の課題と方針	地域課題はますます複雑化、複合化しており、地区部会を中心として地域の関係団体・機関及び行政等が相互に連携・協働を図り、地域が一体となって相互に支え合い、助け合う体制を構築する必要がある。 また、高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域や学校等へ働きかけを行い、新たな担い手の育成・確保に向け取り組んでいきたい。			

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第１回	令和5年9月12日（火）	(1) 令和4年度の進捗状況について (2) 第5期区支え合いのまち推進計画の中間見直しについて (3) 支え合いのまち稲毛（稲毛区推進協だより）について
第２回	令和6年3月4日（月）	(1) 稲毛区支え合いのまち推進計画 令和5年度の取り組みについて

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第30号	令和5年10月1日	発行部数：5,250部 主な配布先： 町内自治会、図書館、公民館、コミュニティーセンター（市民センター）、あんしんケアセンター、いきいきプラザ（センター）

※区内で実施している取組みの中で、工夫して取り組んでいる事例について自由にご記入ください。
・コロナウイルスの影響により休止していた「買い物支援事業」の再開に向け、地区部会、民児協、社会福祉法人と協議を行い、令和6年7月より再開。 ・エリア内にある公園を活用し、近隣の高齢者等を対象としてイベント的にラジオ体操を開催した。

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた場合
○：年度目標が概ね達成できた場合
△：年度目標の一部が達成できた場合
×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	基本方針（５期）	取組項目（４期）	令和５年度の目標又は予定	令和５年度の実績	達成状況	令和６年度の目標又は予定	今後の課題と方針
小中台東地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地域住民を対象とした福祉講座の中で認知症に関する講座を開催する他、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防についての啓発を行います。 また、開催地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会がイベント等を実施し、気軽に参加できる健康づくりや運動の機会を増やします。	地区部会があんしんケアセンターや区健康課等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロン（13か所、98回開催）、延べ928人参加）などを実施し健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みました。	-	地域住民を対象とした福祉講座の中で認知症に関する講座を開催する他、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防についての啓発を行います。 また、開催地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会がイベント等を実施し、気軽に参加できる健康づくりや運動の機会を増やします。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと活動内容について協議を行い、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。
【人口・世帯数】							
19,750人・9,291世帯							
【町内自治会数】							
34町内自治会	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	③ あいさつから始まる地域との関わり	町内自治会や学校、青少年育成委員会、セーフティウォッチャーが連携・協力し、登下校時に通学路などで子どもたちと挨拶をかわすと共に、防犯パトロールの際などに、住民同士のあいさつが浸透するよう努めます。 また、地域内小学校に依頼してあいさつ標語の作品募集を行い、結果を東西社協まつりや広報紙、掲示板などを活用して広めます。	各小学校で民生委員と青少年育成委員会が連携・協力して登下校時のあいさつ運動に取り組みました。 また、近隣校（園生小、小中台小、柏台小、小中台南小）の協力を得て、あいさつをテーマにした標語作品を募集し、小中台西地区部会と共同開催する「東西社協まつり（10/29）」において、優秀作品の展示を行いました。	-	町内自治会や学校、青少年育成委員会、セーフティウォッチャーが連携・協力し、登下校時に通学路などで子どもたちと挨拶をかわすと共に、防犯パトロールの際などに、住民同士のあいさつが浸透するよう努めます。 また、地域内小学校に依頼してあいさつ標語の作品募集を行い、結果を東西社協まつりや広報紙、掲示板などを活用して広めます。	町内自治会、学校、セーフティウォッチャー等と連携し、あいさつ運動の拡充を図るとともに、地域のイベントや広報媒体等を通じて広報啓発を行い、あいさつ運動が地域へ浸透するように取り組んでいきたい。
【高齢化率】							
32.6%							
【地域の特徴】							
稲毛の北西部に位置し、小中台町、園生町の一部、宮野木町の一部、長沼町の一部を含む比較的大きなエリア。 集合住宅、戸建てが混在しており、旧来からの集合住宅は独居・高齢者世帯が増加し、高齢化率も急速に進んでいる。							
		⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、独居高齢者や高齢者世帯等に対して、日常的な声かけやあんしんカードの配布等を行う他、いきいきサロン参加の呼び掛けなどの機会を活用した見守り活動に取り組みます。	地区部会が独居高齢者や高齢者世帯などに対して、あんしんカードを配布すると共に、町内自治会が日常的な声かけを行うなど、継続的な見守り活動に取り組みました。	-	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、独居高齢者や高齢者世帯等に対して、日常的な声かけやあんしんカードの配布等を行う他、いきいきサロン参加の呼び掛けなどの機会を活用した見守り活動に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。
		⑧ 地域での福祉教育の普及・啓発	地区部会が町内自治会や学校、各種活動団体と連携・協力し、福祉講座を企画するなど、ボランティア活動の普及・啓発に努めます。 また、サマーフェスタなどイベントの機会には近隣の小・中学校にボランティア募集を行い、ボランティア活動の実践を通じた福祉教育に取り組めます。	年度ごとにテーマを設定した地区部会主催による講座（10回）の開催や地区部会が町内自治会と連携・協力し、健康づくりや災害をテーマとした情報交換会を開催するなど、住民に対して地域ボランティア活動の普及・啓発に取り組みました。	-	地区部会が町内自治会や学校、各種活動団体と連携・協力し、福祉講座を企画するなど、ボランティア活動の普及・啓発に努めます。 また、サマーフェスタなどイベントの機会には近隣の小・中学校にボランティア募集を行い、ボランティア活動の実践を通じた福祉教育に取り組めます。	地区部会が町内自治会・民児協と連携して、地域住民、エリア内の学校に対し、福祉への意識向上を目的として、福祉教育の普及・啓発に取り組んでいきたい。
		⑨ 地域の情報の収集と発信	地区部会や町内自治会等が、地域の活動に関する情報を相互に共有すると共に、広報紙等で情報発信に取り組めます。	地区部会や町内自治会が相互に会議等へ参加し、地域活動の情報の共有に努めるとともに、地区部会が広報紙（3回発行）で地域住民に対して地域活動の情報発信に取り組めました。 また、地区部会が町内自治会と連携・協力し、健康づくりや災害をテーマとして情報交換会を開催するなど、情報収集などに取り組めました。	-	地区部会や町内自治会等が、地域の活動に関する情報を相互に共有すると共に、広報紙等で情報発信に取り組めます。	地区部会や町内自治会等が相互に会議等へ参加し、情報共有を図ると共に、情報交換会を通じて、関係者間で共有した情報は広報紙等を通じて地域へ発信して行きたい。

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた場合
○：年度目標が概ね達成できた場合
△：年度目標の一部が達成できた場合
×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	基本方針（５期）	取組項目（４期）	令和５年度の目標又は予定	令和５年度の実績	達成状況	令和６年度の目標又は予定	今後の課題と方針
轟・穴川地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課などと協力し地域の高齢者を対象としたいきいきサロン（６か所、68回開催、延べ468人参加）において健康体操や健康相談などを実施しました。	-	地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと活動方法の検討や活動内容など、協議を行い、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。
【人口・世帯数】							
11,295人・5,927世帯							
【町内自治会数】							
15町内自治会	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、老人クラブなど各種活動団体が、地域のイベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会が、各町内自治会で開催された敬老会（7か所）への支援をした他、地域内の学校や福祉施設からの協力を得るなど、協力体制の構築に努めました。	-	地区部会や町内自治会、老人クラブなど各種活動団体が、地域のイベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めていきたい。
【高齢化率】							
23.2%							
【地域の特徴】							
稲毛区の南東に位置する、轟町・穴川・穴川町で構成され、新旧の戸建て、集合住宅が混在しているエリア。 公共交通機関の利便性も比較的高くエリア内には商業施設の巡回バスやタウンバスも運行している。 教育施設（大学）も多く存在し、文教のまちの呼称でも親しまれ、公共機関（教育施設、行政施設等）を内包する。	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	地区部会が公民館と連携・協力して防災講座を継続実施すると共に、町内自治会（自主防災組織）が防災訓練や避難所開設訓練などを行い、防災に関する意識向上に取り組めます。	一部の町内自治会（自主防災組織）が災害時に備え、必要な情報把握に取り組むと共に、防災・避難訓練を実施しました。	-	地区部会が公民館と連携・協力して防災講座を継続実施すると共に、町内自治会（自主防災組織）が防災訓練や避難所開設訓練などを行い、防災に関する意識向上に取り組めます。	町内自治会自主防災組織を中心に、地域住民に対して災害時に備えた支援体制の構築に取り組む必要がある。また、防災に関連する講座の開催や避難所開設訓練などを行い、防災に関する意識向上に取り組んでいきたい。

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた場合
○：年度目標が概ね達成できた場合
△：年度目標の一部が達成できた場合
×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	基本方針（５期）	取組項目（４期）	令和５年度の目標又は予定	令和５年度の実績	達成状況	令和６年度の目標又は予定	今後の課題と方針
稲毛地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	① 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	地区部会が公民館や社会福祉施設などと連携・協力し、いきいきサロンや子育てサロンを実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりの充実に取り組みます。	地区部会が公民館や福祉施設と連携・協力し、いきいきサロン（３か所、28回開催、延べ242人参加）、子育てサロン（１か所、6回開催、延べ45人参加）を実施し、住民同士が身近なところで気軽に集える居場所づくりに取り組みました。	-	地区部会が公民館や社会福祉施設などと連携・協力し、いきいきサロンや子育てサロンを実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりの充実に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、新規の参加者が気軽に参加できるよう地域の実情に沿った活動に取り組んで行きたい。
【人口・世帯数】							
12,387人・6,095世帯		② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンや散歩クラブを実施し、健康体操や健康相談を行うなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンター、行政などと連携・協力して、高齢者を対象としたいきいきサロン（３か所、28回開催、延べ242人参加）や散歩クラブ（12/7 15人参加）を開催するとともに、介護保険についての講座を開催するなど、健康増進や介護予防の普及啓発に取り組みました。	-	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンや散歩クラブを実施し、健康体操や健康相談を行うなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンの内容について参加者のニーズを把握して実施すると共に、介護予防に関する情報を共有し、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んで行きたい。
【町内自治会数】							
11町内自治会							
【高齢化率】							
32.2%	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会など各種活動団体や学校、幼稚園、保育園などが連携・協力して敬老会やふれあい広場などを企画実施し、幅広い世代が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会、各種団体及び近隣の小・中学校と連携・協力して敬老会（9/18）や、多世代の交流を目的としたふれあい広場（2/24）を開催し、幅広い世代が交流できる場づくりに取り組みました。	-	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会など各種活動団体や学校、幼稚園、保育園などが連携・協力して敬老会やふれあい広場などを企画実施し、幅広い世代が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会が各種活動団体と、相互に連携・協力し、開催内容・方法などについて協議を行い、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んで行きたい。
【地域の特徴】 稲毛区の最南に位置し、JR稲毛駅と国道の間に新・旧の戸建て住宅が立ち並ぶ高齢化率が比較的高いエリア。 旧来からの戸建てが集中する場所は向こう三軒両隣の風習が残っていることから、地域の繋がりは強い。 移動の際の主な公共交通機関として京成線・バスの利用が可能となるが、バスルートは浅間通りに限定される。 また、商業施設はJR稲毛駅周辺に集中していることから、自前の移動手段を保有しない高齢者の利便性は低い。							
		⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが、地域のイベント（敬老会やふれあい広場など）を実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが相互に会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めました。	-	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが、地域イベント（敬老会やふれあい広場など）の開催に向け相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会、民児協、学校など、地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めて行きたい。
		⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して地域内のニーズを把握することに努め、見守り、支え合い活動の必要性について協議します。	地区部会が民児協や町内自治会と協力し、いきいきサロンやふれあい食事サービスなどの地域活動を通じて、参加者への声かけによる見守り活動に取り組みました。	-	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して地域内のニーズを把握することに努め、見守り、支え合い活動の必要性について協議します。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んで行きたい。

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和5年度）個票

【達成状況の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた場合
○：年度目標が概ね達成できた場合
△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	達成状況	令和6年度の目標又は予定	今後の課題と方針
稲丘地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	① 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力し、町内自治会館において、いきいきサロンや子育てサロンを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。	地区部会と、町内自治会（稲毛東、稲毛台、稲丘町）が連携・協力し、自治会館及び稲丘小学校校庭、体育館等を利用してのいきいきサロン（11ヶ所 110回 延べ828人参加）を実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりに取り組みました。	-	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力し、町内自治会館において、いきいきサロンや子育てサロンを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。	参加者の固定化・毎期、毎回同じ顔触れの集うサロン活動から脱却するため、新規の参加者が増えるようなサロン企画・開催を行う必要があります。 また、町内自治会、民児協と連携し、新規で交流の場の立ち上げについて取り組んで行きたい。
【人口・世帯数】							
12,245人・5,731世帯		② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が、あんしんケアセンターや区健康課等と連携協力し、高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターと連携・協力し、いきいきサロン（11ヶ所 110回 延べ828人参加）、あんしんケアセンターの協力を得て敬老会、文化祭での体力測定診断を実施するなど、高齢者に対して健康づくりや介護予防に取り組みました。	-	地区部会が、あんしんケアセンターや区健康課、シニアリーダー等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	区健康課、あんしんケアセンターなどと活動内容の検討、協議を行い、健康づくり、介護予防の普及・啓発のためのサロンづくりに取り組んで行きたい。
【町内自治会数】							
7 町内自治会							
【高齢化率】							
23.4%	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント（敬老会、地区運動会、正月行事など）を企画実施し、住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会が各町内自治会、稲丘小スポーツ振興会主催の敬老会や三色対抗競技会等のイベントへ協力するなど、多くの地域住民が参加交流できる場づくりに取り組みました。 なお、昔の子供遊びの再現や餅つき体験等の正月行事については諸所の事情を考慮し、開催を見送りました。	-	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント（敬老会、地区運動会、桜を見る会・夏祭り等の季節行事など）を企画実施し、住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	幅広く各世代が参加、交流できる場づくりとしてイベントの実施は一番有効な方法と考えているが、複雑、多様化した最近の社会環境下で、地域住民の共感、協力を得られるような新しいイベントづくりに会員と協議してその実現に努めていきたい。
【地域の特徴】 JR稲毛駅前付近は高層大規模な集合住宅が林立し、若い世代が集中して、戸建て住民を牽引する形で地域意識が好い町作りの方向に変容しつつある。 集合住宅と戸建住宅が混在する稲毛の台地部で、快速の停車駅JR稲毛駅と、京成稲毛駅はバスの利用なしで行ける。 エリアは7つの自治会から成るが、JR稲毛駅至近に建つ1マンション区が小学校区は稲丘小、地区部会は小中台西エリアに属し、双方の地区部会活動に関わっている。							
		⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して、いきいきサロンやふれあい食事サービスなどを通じて声かけによる安否確認を行うなど、見守り活動に取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協と相互に連携・協力し、高齢者に対しての声掛け、訪問、住民同士の見守り活動に取り組みました。 なお、ふれあい食事サービスについては、担い手不足、高齢化等もあつて、従来の方法では実施が困難と判断し、常任理事会において、再開に向けての方策を協議しました。	-	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して、いきいきサロンやふれあい食事サービスなどを通じて、声かけによる安否確認を行うなど、見守り活動に取り組みます。	担い手不足の解消に向けて、地域住民への働きかけと併せて、各町内自治会、民児協と連携・協力して、地域の実情に沿った活動の実施に努めて行きたい。 また、ボランティアの高齢化に伴い、事業の継続が非常に困難となっている。どのように継続していくかを地域全体の課題という認識を持ち、一緒に議論して行きたい。
		⑨ 地域の情報の収集と発信	地区部会が町内自治会、民児協、関係機関等と連携協力して会議等に相互に参加し、情報を共有するとともに、広報紙等により地域の活動の情報発信に取り組みます。	各町内自治会会長、民児協役員で構成される常任理事による常任理事会を隔月第3土曜日に開催し、情報の共有を図りました。 また、地域住民に対して地区部会、各自治会発行の広報紙などにより情報発信に取り組みました。	-	地区部会が町内自治会、民児協、関係機関等と連携協力して会議等に相互に参加し、情報を共有するとともに、広報紙等により地域の活動の情報発信に取り組みます。	地区部会を取り巻くネットワーク（町内自治会・民児協・学校・PTA・各種関係団体等）を活用し、より密な連携協力体制の構築を図ると共に、地域の活動の情報発信に取り組んで行きたい。
		⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	町内自治会自主防災組織が地域住民に対して、災害時に備えて防災訓練や避難訓練を実施するなど、平常時からの防災への意識の向上に努めます。	稲丘小学校避難所運営委員の構成員に地区部会、町内自治会会長、民児協役員を明記し、防災に関する情報の共有を図りました。 また、稲毛区公開防災講座への参加や稲丘小避難所マンホールトイレ実証訓練、実施地域住民対象の防災訓練を行うなど、防災意識の向上に努めました。	-	町内自治会自主防災組織が地域住民に対して、災害時に備えて防災訓練や避難訓練を実施するなど、平常時からの防災への意識の向上に努めます。 また、町内自治会間で防災活動に関する情報共有を行い、災害時における連携強化に努めます。	町内自治会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を設けるとともに、防災に関する公開講座への参加を呼びかけ、住民一人一人の災害時に備えた意識の向上に努めて行きたい。
		⑫ 地域住民を地域で守る取組み	町内自治会等が警察と連携し、地域住民の防犯意識を高めるために防犯パトロールを行うなど、住民同士の防犯活動に取り組みます。	各町内自治会が独自のルールで町内パトロールを行うと共に、夏休み、冬休み期間中には育成委員会、PTAが防犯パトロールを実施するなど地域内の防犯活動に取り組みました。	-	町内自治会等が警察と連携し、地域住民の防犯意識を高めるために防犯パトロールを行うなど、住民同士の防犯活動に取り組みます。	高齢化社会に伴い、地域の関係が希薄となる中、地区部会が町内自治会や民児協、育成委員会、警察などと連携し、地域住民の防犯への意識を高めると共に、防犯パトロールの強化を行うなど、防犯活動に取り組んで行きたい。

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた場合
○：年度目標が概ね達成できた場合
△：年度目標の一部が達成できた場合
×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	基本方針（５期）	取組項目（４期）	令和５年度の目標又は予定	令和５年度の実績	達成状況	令和６年度の目標又は予定	今後の課題と方針
千草台中学校地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター、区健康課等と連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロンなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンター、シニアリーダー等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロン（６ヶ所 60回 延べ779人参加）、ポッチャ、グラウンドゴルフ大会、認知症声かけ訓練を実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みました。	-	地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター、区健康課等と連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロンなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、担い手を確保するため、地域住民へ働きかけて行きたい。
【人口・世帯数】							
7,523人・4,806世帯							
【町内自治会数】							
8町内自治会	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会が町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント（秋祭りや敬老会、地区運動会など）を企画実施し、幅広い世代層が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会や町内自治会、民児協などが相互に連携・協力して、敬老会（9/28）や秋祭り（11/12）、正月行事（1/14）などを開催し、幅広い世代の参加・交流の場づくりに取り組みました。	-	地区部会が町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント（秋祭りや敬老会、地区運動会など）を企画実施し、幅広い世代層が交流できる場づくりに取り組みます。	引き続き、既存の地域活動を継続するため、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んで行きたい。
【高齢化率】							
34.5%							
【地域の特徴】							
2,000世帯から成る千草台団地を中心に新旧の戸建て、マンションが立ち並ぶ全8町内自治会で構成されているエリア。 バスが主な移動手段となり、JR稲毛駅、千葉駅、西千葉駅の利用が可能。 駅までは距離があるが千葉都市モノレールも2駅が利用可能。 また、エリア内には生鮮食料品を扱う店舗は千草台団地内の1店舗。 前記の千草台団地の高齢化率は47%で稲毛区でも2番目に高く、エリア全体でも比較的高い数値となっている。		⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会などが、イベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会などが相互に会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めました。	-	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会などが、イベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に取り組んで行きたい。
	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	町内自治会が地域住民に対して避難訓練等を行うなど、平常時から災害時に備えた支援体制づくりに努めます。	地区部会や各町内自治会（自主防災組織）が連携・協力して、防災訓練（9/3）を実施し、災害時の支援体制づくりに取り組みました。	-	町内自治会が地域住民に対して避難訓練等を行うなど、平常時から災害時に備えた支援体制づくりに努めます。	町内自治会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を活用し、住民に対して災害時に備えた危機意識向上に取り組んで行きたい。 また、防災に関連する講座を開催するなど、地域住民に対し、防災に関する意識向上に取り組んで行きたい。

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた場合
○：年度目標が概ね達成できた場合
△：年度目標の一部が達成できた場合
×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	基本方針（５期）	取組項目（４期）	令和５年度の目標又は予定	令和５年度の実績	達成状況	令和６年度の目標又は予定	今後の課題と方針
緑・黒砂地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	① 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	地区部会が民児協などと連携し、公民館や公園などを活用し、高齢者や子育て世代の居場所づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロン（2か所 13回 延べ192人参加）や子育て中の親子を対象として子育てサロン（1か所 6回 延べ87人参加）を実施しました。	-	地区部会が民児協などと連携し、公民館や公園などを活用し、高齢者や子育て世代の居場所づくりに取り組みます。	活動の継続に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んで行きたい。
【人口・世帯数】							
9,261人・5,043世帯							
【町内自治会数】							
7町内自治会							
【高齢化率】							
22.1%		② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターと連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンや、ふれあい食事サービスを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が民児協やあんしんケアセンター等と連携し、高齢者向けにいきいきサロン（1か所 10回 延べ130人参加）や、エリア内数か所の公園でラジオ体操（1か所 3回 延べ62人参加）を開催した他、健康講座などにより健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みしました。	-	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターと連携・協力して、高齢者に対していきいきサロンや、ふれあい食事サービス、健康講座を開催し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が民児協やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンやふれあい食事サービスを通じて健康づくりの推進を図るとともに、介護予防に関する情報を共有し、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んで行きたい。
【地域の特徴】 JR線を境に、南に走る国道357号線までの緑町、黒砂、黒砂台1丁目～2丁目をエリアとし、中心を京成線が東西に走っている。 文教施設（大学）が隣接していることもあり、エリアには多くの学生が居住している。							
	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	③ あいさつから始まる地域との関わり	学校（セーフティウォッチャー）と各種関係団体が連携し、一定期間に通学路や学校周辺、地域内であいさつ運動を行い、子どもから大人までが顔なじみになるよう関係づくりに取り組みます。	町内自治会や学校（PTA）と連携し、一定期間に、通学路や学校周辺であいさつ運動を行うと共に、見守り隊によるあいさつ（声掛け）をするなど、子どもから大人までが顔なじみになるよう、あいさつ運動への協力に取り組みしました。	-	学校（セーフティウォッチャー）と各種関係団体が連携し、一定期間に通学路や学校周辺、地域内であいさつ運動を行い、子どもから大人までが顔なじみになるよう関係づくりに取り組みます。	町内自治会、学校、セーフティーウォッチャー等と連携し、あいさつ運動の拡充を図るため、地域イベントや広報紙を通じてあいさつ運動が地域へ浸透するように取り組むとともに、担い手確保に向け、見守り隊の募集を行って行きたい。
		④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会が主体となり幅広い世代が参加できる「福祉バザー」を実施する他、町内自治会、民児協が連携・協力し、「納涼祭」「敬老会」等を実施するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	町内自治会や青少年育成委員会、民児協が連携・協力し、地域全体で納涼祭（8/19）や敬老会（9～10月）、福祉バザー（11/23）を開催するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みました。	-	地区部会が主体となり幅広い世代が参加できる「福祉バザー（11/23）」を実施する他、町内自治会、民児協が連携・協力し、「納涼祭」「敬老会」等を実施するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	既存の地域イベントを継続するため、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催方法を検討するなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んで行きたい。
	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	⑫ 地域住民を地域で守る取り組み	町内自治会や民児協、各種活動団体が連携・協力して防犯活動協力者を確保し、自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組みます。	民生委員活動を通じて、高齢者等に対し声かけによる安否確認や、一部の町内自治会が、週２回の防犯パトロールや見守り活動を継続して取り組むと共に、「防犯ステッカー」を防犯活動協力者の自転車に掲示するなどして、地域内の防犯活動に取り組みしました。	-	町内自治会や民児協、各種活動団体が連携・協力して防犯活動協力者を確保し、自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んで行きたい。

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和５年度）個票

【達成状況の目安】

◎：年度目標以上のものが達成できた場合

○：年度目標が概ね達成できた場合

△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

一：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	基本方針（５期）	取組項目（４期）	令和５年度の目標又は予定	令和５年度の実績	達成状況	令和６年度の目標又は予定	今後の課題と方針
小中台西地区部会	21,342人・12,537世帯	③ あいさつから始まる地域との関わり	地区部会が町内自治会・学校・青少年育成委員会と連携・協働し、あいさつをテーマにした標語の作品募集を行い、「東西社協まつり（10月）」や広報紙などで作品の広報啓発に取り組みます。 また、地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、町内に掲出するステッカー等により、地域住民に「あいさつ・声かけ運動」の浸透に取り組みます。	地区部会が近隣校（園生小、小中台小、粕台小、小中台南小）の協力を得る中、あいさつをテーマにした標語作品を募集し、東西社協まつり（10/29 小中台公民館）で優秀作品の展示会を行うと共に、あいさつ運動のステッカーを作成して町内自治会の掲示板へ掲示するなど、あいさつ運動の浸透に取り組みました。 また、セーフティウォッチャー（園生小・小中台小、小中台南小）が青少年育成委員や民生委員と連携・協力して登下校時のあいさつ運動や、町内自治会が防犯パトロールを兼ねてあいさつ・声かけ運動に取り組みました。	-	地区部会が町内自治会・学校・青少年育成委員会と連携・協働し、あいさつをテーマにした標語の作品募集を行い、「東西社協まつり（10月）」や広報紙などで作品の広報啓発取り組みます。 また、地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、町内へステッカーの掲示やセーフティウォッチャーが青少年育成委員や民生委員と連携・協力し、登下校時や、町内自治会が防犯パトロールを兼ねてあいさつ・声かけ運動に取り組みます。	町内自治会、学校、セーフティウォッチャー等と連携し、町内自治会が防犯パトロールを兼ねたあいさつ・声かけ運動の拡充を図るとともに、地域のイベントや広報媒体等を通じて広報啓発を行い、あいさつ運動が地域へ浸透するように取り組んで行きたい。 また、町内自治会未設置エリアへ、あいさつ運動への理解と協力に向け働きかけて行きたい。
【人口・世帯数】							
【町内自治会数】							
18町内自治会							
【高齢化率】							
24.4%							
【地域の特徴】							
JR稲毛駅周辺を中心とした小中台1丁目から9丁目のエリア。 新・旧の戸建て住宅とマンションが混在し、駅周辺のマンションには若い世代が多く居住しているが、JR稲毛駅から距離のある旧来からの集合住宅では高齢化が進行している。	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会が町内自治会や民児協、各種活動団体と連携・協力して「東西社協まつり（10月）」や「茶話会（3月）」などイベントを企画実施する他、自治会単位で開催する祭やイベントなどを通じて住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協、商工会、学校などと連携・協力し、東西社協まつり（10/29 小中台公民館）や町内自治会ごとに夏祭り、75歳以上の高齢者を対象とした茶話会（3/17 小中台公民館）を開催するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みました。	-	地区部会が町内自治会や民児協、各種活動団体と連携・協力して「東西社協まつり（10月）」や「茶話会（3月）」などイベントを企画実施する他、自治会単位で開催する祭やイベントなどを通じて住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んで行きたい。
		⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会や民児協と連携し、一人暮らし高齢者等に対して日常的な声かけなどの安否確認等による見守り活動に取り組みます。	7町内自治会が一人暮らし高齢者に対して訪問による声かけや防犯パトロール等により安否確認の見守りを継続的に取り組んだ他、地区部会が町内自治会や民児協と連携・協力し、いきいきサロン（9か所 75回 延べ760人参加）の活動を介して高齢者等の見守りに取り組みました。また、一部の自治会で平常時のほか、災害時など緊急時の見守りとの2パターンを想定した見守り活動に取り組みました。	-	地区部会が町内自治会や民児協と連携し、一人暮らし高齢者等に対して日常的な声かけや、いきいきサロン、ふれあい食事サービスの参加者・利用者への安否確認等による見守り活動に取り組みます。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んで行きたい。